

患者さんと医療従事者が作るパートナーシップ

特定医療法人 一成会

よりよい医療を実現するためには、数々の条件が必要です。医療従事者がさまざまな努力をするべきことは言うまでもありません。そして、患者さんと医療従事者がパートナーとして、対等な立場で病気と向かい合うために、患者さん自身にも、医療の場において果たすべき役割があるのではないのでしょうか。そこで、そのことを前提として、それぞれが果たす役割はどのようなものであるべきか考え、以下のようにまとめました。

1. 患者さんと医療従事者が作るパートナーシップ

一成会は、よりよい医療を実現するためには、患者さんと医療従事者が、より対等に近い立場で相互に信頼しあい、果たすべきそれぞれの役割をきちんと果たすことが重要であると考えます。それが、一成会が考える、「患者さんと医療従事者が作るパートナーシップ」です。

2. 患者さんの権利

一成会は、当法人の医療において、患者さんは以下の権利を有すると考えます。この患者さんの権利を守ることは、私たち医療従事者の役割です。

自分の病状やけがの状態について知る権利
自分の病気やけがについての治療法を知る権利
自分の病気やけがの治療方法を選択する権利

3. 患者さんの役割

その上で、医療をよりよいものにするために、患者さんは、医療のパートナーとして次に挙げる役割を果たして下さるようお願い致します。

医療に必要な情報を、できる限り正確に伝えてください
患者さん自身の病状を、より正確に理解してください
医師やスタッフの助けを得ながら、患者さん自身が、医療についての方針を自己決定してください

2008年2月